

第1回 電子情報化委員会 議事録 (抜粋)

日 時：2002年9月4日(水) 13:00～17:00

場所：JCI 会議室

出席者：丸山委員長、中村幹事、日比野、斉藤、山本、馬場、森の各委員
宇治(査読委員会幹事)
山下専務、宇野、竹田、戸口(事務局)
小林、窪田、三浦(開発計算センター:KCC)

配付資料：

- 1-0 議事次第
- 1-1 平成14年度 電子情報化委員会名簿(事務局)
- 1-2 第13回電子化部会議事録(案)(中村幹事)
- 1-3 査読システム試行に対する意見・要望(KCC)
- 1-4 電子情報化・データベースWG打合せ議事録(案)(森委員)
- 1-5 コンクリート工学年次大会の電子化に関するアンケート結果(日比野委員)
- 1-6 「コンクリート工学年次論文集」Vol.25 原稿募集(事務局)

議事：

1. 委員長挨拶および委員自己紹介(資料1-1)

丸山委員長より電子情報化委員会が発足した経緯、および、以下の示す今後の課題について説明があった。

- ・年次大会の電子化のサポート
- ・京都大会で稼動する査読システムを完成させる
- ・JCIの様々な電子化の検討(過去の文献の電子化、課金システム等)
- ・ACIとのリンクについて(出版物の相互購入など)

委員から自己紹介が行われた。電子情報化委員会は、1年間は名簿(資料1-1のメンバー)で行う。名簿に関連した議事は以下の通り。

- ・KCCがメーリングリストを作製する。メーリングリストには委員会メンバーだけでなく事務局ならびにKCCも登録する。
- ・中国四国支部(26回大会開催)からの委員は、支部で現在検討中。

2. 第13回コンクリート工学年次大会'02(つくば)実行委員会電子化部会議事録(案)の確認 (資料1-2)

第13回電子化部会議事録(案)を確認した。

3. 査読システムについて(資料1-3)

8月に行った、査読システムの試行に関する意見について検討した。なお、査読システムに大きな変更が必要な点に関しては、次年度以降に変更を行う。(以下括弧内の番号は、資料1-3の表中の番号)

- (1)戻るボタンを押すと入力内容が消えてしまう点について、
「戻る」を押すとデータが消える旨を明記するか、ボタンの表記を変更する等で対応する。
- (2)ログアウトボタンがない点について
終了ボタンを作製する。
- (3)論文連名者の所属に関して(外部査読委員選定関連)
論文連名者の所属が同一の外部査読委員を選定しないように、連名者の名前を表示する下に所属(会社名・大学名)を表示する。
- (4)外部査読委員の会員番号による検索について
試行の際の意見の通り、会員番号を入力したら名前が表示されるほうが便利であるが、サーバアクセスが増え、技術的にも無理があるので、現状のままとする。
- (5)外部査読委員の登録完了の認証について
データベースに登録された旨を表記する。

(6) 外部査読委員の連名者との重複について

連名者の会員番号に誤りがある可能性があるため、警告のみとする。

(7) 外部査読委員の重複選定情報について

委員長および幹事が参照できるようにする

(8) 修正事項、参考意見の確認画面での表示の体裁について

確認画面で改行が無視されないように(続けて表示されないように)改善する。

(9) 修正事項の画面遷移について

修正事項 6~10 の画面から 1~5 の画面に戻るような場合、戻っても入力内容が消えないように操作してもらうための注意を記載する。

(10) 優秀講演賞の表記

正確な名称の「年次論文奨励賞」へ訂正する

(11) 入力画面の途中でデータの保存について

最終画面まで進まないで入力内容が保存されないことをマニュアルに記載する。

(12) 全体意見について

入力は任意であることを明記する。

- ・ 集計表(一覧表)に各論文に対する備考欄が欲しいという意見があった。表にスペースがないため、全体意見に飛ぶリンクボタンを追加し、その欄でメモ書きを書いてもらうこととする。
- ・ 郵便物の送付先の項目は、内部査読委員の画面から取り除く。
- ・ 外部査読委員用の操作マニュアルは査読委員会で作成する。
- ・ 操作マニュアル(試行時のマニュアルを訂正したもの、Q&A)を査読要領の最後に追加する。
- ・ 運用中の外部査読委員からの問合せ窓口は事務局とする。
- ・ 外部査読委員に査読システム使用前に、サンプル入力画面を公開する。

4. 査読データベースについて(資料 1-4)

外部査読委員選定のデータベースについて、データベース WG で検討を行った原案をもとに今後以下のように進めることとなった。

- ・ データベースは、「外部査読委員データベース」と「会員データベース」の2つに分割して作製する。
- ・ 外部査読委員データベースは、25 回大会の査読システム初回運用に向けて、つくば大会の外部査読委員を登録する。次年度以降随時登録し、最大で過去 5 年の外部査読委員経験者を登録する仕様とする。(登録者数 500~800 人程度)
- ・ 会員データベースは、会員全員の氏名、氏名のフリガナ、会員番号を登録したものとする。(内部査読委員が外部査読委員データベースに登録されていない人を登録する際に、使用する。)
- ・ 外部査読委員データベースの構築に必要なデータのうち、連絡先、所属、専門分野に関しては、つくば大会の外部査読委員への謝礼連絡の際に、アンケートを同封して本人に回答してもらう。回答結果は、郵送で返却とし、事務局が電子化し、11 月上旬までに KCC に渡す。
- ・ 次年度以降のデータベースの更新の方法として、初年度のアンケートを行う項目は、本人が Web より変更できるようなシステムを検討する。
- ・ 査読システム運用時に、これまで内部査読委員に紙で配布していた、過去の外部査読委員の資料を、補足資料として当面配布する。

5. 課金システムについて(KCC)

- ・ 下記の通り、課金システムについて KCC より提案があった。会員サービスの向上、事務処理の軽減を目的とし、今後はこの提案に沿って検討を進める。
 - (1) 書籍等は、「クレジットカード」、および、「郵便振替」で決済するシステム。非会員も使用可能。
 - (2) 文献等の金額が小額(数百円程度)のものは、(1)の方法で決済ができないので、Eチケットシステムで決済する。Eチケットシステムは、ポイント制のチケットを事前購入し、ホームページ上でチケットのポイントで決済するもの。会員のためのサービス。

- ・デモを行った、課金システムのホームページを委員に公開する。
- ・課金システム WG を作成し、斎藤委員を主査、日比野委員を委員とする。

6. その他

- ・ つくば大会のアンケート結果の会誌掲載原稿(資料 1-5)が完成した。
- ・ 「コンクリート工学年次論文集」Vol. 25 原稿募集(資料 1-6)が会誌 10 月号に掲載される。今年は、17:00 で原稿締切であることを明記した。
- ・ 作業スケジュール案を KCC が作成する。
- ・ 次回(第 2 回)委員会を、10/22(火)17:30~行う。ただし、10 月 15 日から投稿申し込みが始まるので、その状況で 15 日以前に変更する可能性がある。

以上